

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	41
学校名	富山県立富山聴覚総合支援学校

学校の現状と課題	本校では聴覚障害のある幼稚部から高等部までの幼児児童生徒と、軽度知的障害のある高等部の生徒が共に学んでいる。年齢差が大きく障害種も異なるが、一人一人が、たくましく自分の人生を歩んでいけるよう、「生きる力」の育成を目指して取り組んでいる。しかし、これまでの考え方を継続して指導するだけでなく、一人一人が、自分が進む未来のために何が必要かを考えて学ぶという、いわゆる主体的な学びへと指導の考え方を変えていく必要がある。	
テーマ(特色)	様々な課題に柔軟かつたくましく対応できる力を育むためのキャリア教育の在り方	
設定した「テーマ」の達成状況	高等部福祉・サービス科の生徒を対象として、外部講師による生徒への直接的指導、実践を通して、授業改善を図り、生徒が主体的に学ぶための指導の在り方を探ることができた。	
実施内容 (具体的に記入する)	①福祉コース選択生徒が福祉現場における基本的作業内容を学ぶ。 ②流通コース選択生徒が清掃現場における基本的作業内容を学ぶ。	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	外部講師による生徒への直接的指導によって、アビリンピック富山への出場や、就業体験先での実践に生かすことができた。 地域貢献活動として、高等部1年生が近隣の福祉施設への見学・体験を行うことができた。	
対象者(学年・人数など)	高等部福祉・サービス科 1年 8名、2年 4名、3年 5名 計 17名	
実施実績	4月	福祉・流通の授業
	5月	福祉・流通の授業
	6月	授業改善 就業体験 外部講師による直接指導
	7月	福祉・流通の授業 アビリンピックとやまへの出場
	8月	
	9月	福祉・流通の授業、地域貢献活動の実施
	10月	授業改善
	11月	就業体験
	12月	福祉・流通の授業
	1月	福祉・流通の授業
	2月	福祉・流通の授業
	3月	